

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第27号
2019年(令和元年)
9月2日
組織拡充委員会

地区協議会で隊褒彰綬、特別年功章

6月27日(木)、地区協議会が阿佐谷地域区民センターで開催され、議事に先立ち、以下の各団の隊に、隊旗の冠頭につける隊褒彰綬(環)が伝達され、また、以下の皆さんの永年の功績に対して、特別年功章が伝達されました。

【 隊褒彰綬 】

杉並 2団 :	V S 隊4 5 年 綬、B V S 隊2 0 年 綬	杉並 3団 :	B S 隊6 0 年 綬
杉並 6団 :	V S 隊4 5 年 綬	杉並 9団 :	R S 隊3 5 年 綬
杉並 12団 :	C S 隊4 0 年 綬、B V S 隊2 5 年 綬	杉並 13団 :	R S 隊2 0 年 綬

【 特別年功章 】

中野 3団 : 村上 健 (20年)
 中野 11団 : 神田 健太郎、富田 宏幸 (15年)
 杉並 2団 : 石井 友紀 (20年)
 杉並 3団 : 井口 和也 (15年)
 杉並 4団 : 的場 健 (20年)、水野 雄大 (15年)、並木 崇大、伊澤 聡史 (10年)
 杉並 5団 : 嶋崎 正男 (20年)、元植 美萌 (5年)
 杉並 11団 : 鈴木 信太郎 (15年)、谷島 みどり (10年)
 杉並 12団 : 亀井 洋平、佐藤 英介、宇川 佳子、下川 哲男、小平 吉彦 (5年)
 杉並 13団 : 榎田 紀彦 (10年)、大武 佳子、鈴木 大樹 (5年)



杉並2団 石井友紀さん (左)
杉並5団 嶋崎正男さん (右)

隼スカウト章伝達

6月21日(金)阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、杉並9団の相澤岳琉さん、杉並12団の村上智基さんに、佐藤地区委員長より隼スカウト章が伝達されました。



地区ベンチャーフォーラム ～私たちにできる社会貢献とは～

8月24日(土)、あすなろ地区主催の「ベンチャーフォーラム2019」が阿佐谷地域区民センターで開催され、杉並11団のベンチャースカウト2名が参加しました。進行役は杉並5団ローバー隊の関戸大輔さんが務めました。

テーマは「私たちにできる社会貢献とは」で、基調講演で岡村地区協議会長が自身の社会貢献の事例紹介をしたあと、昨年の東京連盟ベンチャーフォーラムに参加した大森直幸さんから、「多摩川クリーン作戦」と題して発表した内容の紹介がありました。

フォーラムでは「社会貢献には何があるか」、「社会貢献をするには」、「社会貢献の計画」の各テーマについて討議し、意見や考え方はポストイットを使って模造紙上で整理してまとめ、発表しました。

ベンチャースカウトがフォーラムに参加し、意見を発表しあうことによって、相互の理解を深め、幅広い社会性を身につけることにもつながりました。9月7日(土)と8日(日)、練馬区立大泉中学校で開催される東京連盟ベンチャーフォーラムには、地区から2名が参加の予定です。



地区指導者技能訓練 SFHと歌・ゲームを学びました

7月6日(土)、あすなろ地区の指導者技能訓練がなかのZEROで開催され、各団の指導者、団委員が参加しました。この訓練は、コミッショナーがラウンドテーブルで地区への要望を調査したところ、訓練に関する要望が多かったことから、7月のラウンドテーブルも兼ねて実施されたものです。

第一部として、下地コミッショナーより日本連盟の「セーフ・フロム・ハーム登録前研修2019テキスト版」を使ったセミナーがあり、本年2月に追加された「バディールール」の説明もありました。

第二部では、各隊指導者の活動に役立てるよう、講師から動作の入った歌や、スカウトが気軽に楽しめるゲームが紹介されました。



落雷時にボールを持たないようにパス



手を離さないように列の間を潜り抜けて…



手の中のチーフリングの数はいくつ？



背面でジャンケン伝えて、ジャンケンポイ！



後方から新聞紙の「島」をリレーして前進



ロープの島に乗り移りながらゴールへ

救急法講習会開催

6月16日(日)、あすなろ地区のスカウト救急法講習会が開催されました。

午前中は中野消防署での普通救命講習で、32名が受講しました。マネキン人形を使って、救命に必要な心肺蘇生法、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方、止血法などを学びました。

午後は中野南部すこやかセンターに会場を移してボーイスカウト救急法が行われ、51名が受講しました。

講習は食中毒、熱中症などの急病や、打撲、骨折、熱傷などの外傷と手当について学び、大きな三角巾は折りたたんだり、広げたりしながら、2人1組になって、お互いに頭部や膝の外傷、腕の骨折、足の捻挫などを想定した使い方を練習しました。

傷病者の搬送については、毛布、竹材を使った急造担架を作り、交替で傷病者役になって、頭の方から持ち上げて、足元から降ろすなどの注意事項を傷病者の身になって体験しました。



講師の消防署、消防団の方々



一定リズムで胸骨を圧迫し、心肺蘇生



心臓を挟む位置にパッドを装着してAEDの使い方の実習



午後は会場を移して救急法講習



毛布の端を巻いた担架づくり



三角巾を使って応急手当



修了章の授与



多くのスカウトが参加しました

東京連盟のサマーキャンプに参加

中野8団

ボーイ隊長 沼上幸一

東京連盟が主催するサマーキャンプは、山中野営場で毎年のように開催されていたキャンプ大会ですが、今年度初めて、会場を高萩スカウトフィールドに移して開催されました。中野8団のボーイ隊トラ班とフェニックス班は、この「サマーキャンプ2019」に参加してきました。両班は大都心地区の合同班（フクロウ班）とともに第一隊を編成して、8月6日（火）から11日（日）までの5泊6日の野営をしました。

プログラムは、パイオニアリング、ハイキング、シャワーウォーク、班対抗ゲーム、キャンプファイアなど、盛りだくさんで、この間に隊独自の交流会なども行いました。

パイオニアリングは、丸太を使っての大型構築物作りで、今回は信号塔を製作しました。1基あたり約10名でとりかかり、約4時間で2基の信号塔を完成させました。初級スカウトも、日ごろ扱ったことのないサイズの木材を相手に、今まで学んできた各種の結索法を駆使して、一生懸命取り組んでいました。完成した後は実際に塔の上まで登り、高所からの景色を堪能しました。

ハイキングは、高萩の名所の堅破山（たつわれさん）に登りました。指令書に従い、地図とコンパスを駆使し、スカウトフィールドから登山口、そして山頂まで登るコースでした。

シャワーウォークは、これも高萩の名所の花貫渓谷で行いました。ウェットスーツ・ライフジャケット・ヘルメット着用の本格装備で、花貫川の上流から下流に向かい歩きました。急流での滑り台や深みへの飛び込みなど、暑い日々の中でのひと時の清涼でした。班対抗ゲームは第二隊と合わせて6ヶ班での対抗ゲームで、「班旗を掲げよ」や「動くピラミッド」、「ワイドゲーム」などを行いました。

両班ともに1級（中3）の班長以外は皆初級（小6）のスカウトといういびつな構成の中、高所にある山中野営場とは異なり、日中は簡単に熱中症指数30℃近くになってしまう暑さや、ヤブ蚊・アブ・ブヨなどの虫の襲来に悩まされながらの6日間の活動は、初級スカウトだけではなく、それを指導する1級スカウトにとっても過酷なものでした。しかし一人の脱落者も無く、それらを乗り越えての大会終了後のスカウトの顔は自信に満ちていました。

今回は、初めての高萩開催ということもあったせいか、参加者が40名弱（6ヶ班2隊編成）にとどまり、少し寂しい規模でしたが、ジャンボリーのお祭りとは一味違ったスカウティングの匂いのする良いキャンプ大会でした。



上段：左から日常風景1,2、班旗立てゲーム
中段：ピラミッドゲーム、ハイキング出発、シャワーウォーク
下段：信号塔づくり1,2、キャンプファイア

隅田川花火大会で奉仕

7月27日(土)、隅田川花火大会があり、中野5団と8団、杉並5団と11団のスカウト17名、指導者5名が警備で奉仕しました。

あすなろ地区の警備担当場所は厩橋で、心配された台風の影響もなく、約2万発の花火が夜空を彩りました。

今年は新元号の令和や、来年の東京オリンピック、パラリンピック開催を祝う花火も登場し、大勢の観客から歓声が上がっていました。



荻窪センター祭に参加 杉並6団

6月22日(土)～23日(日)、荻窪地域区民センターで開催された「荻窪センター祭」に、杉並6団のスカウト、指導者、保護者の皆さんが参加し、ヨーヨーつり、焼きそば、フランクフルト、かき氷のお店を出店しました。

会場ではセンター利用の各グループの作品展示や、折り紙教室、杉並区の野菜や南伊豆町の花産物の販売、舞台での舞踊・演奏やスタンプラリー、玄関前では“本物の白バイ”に乗って写真を撮れるコーナーもあり、地域の家族連れの方々や子供たちなどでにぎわいました。



ハワイのスカウト来訪

杉並2団カブ隊長

田中 卓

7月21日(日)、アメリカのアロハ連盟第49隊(本願寺 ハワイ別院)の21名が来日しました。

昨年4月、あすなる地区ローバースカウト10名がハワイを訪問し、第49隊のスカウト達と交流をしてきましたが、今回はその返礼です。

ハワイのスカウトは、京都の本願寺を表敬訪問した後、25日には築地本願寺を訪問して中央10団のスカウトと交流し、28日には杉並2団カブ隊のスカウトの案内で、高尾山にある仏舎利塔を訪問しました。

ハワイのボーイ隊のうち4人は元気で、1号路を走って25分で登りました。

仏舎利塔は仏舎利(釈迦の遺骨)を納める仏塔で、宗教界、財界、ボーイスカウト日本連盟、各界の関係者の発願で昭和31年に建立され、八王子7団が中心となって、毎年八王子地区の各団が仏舎利塔奉安法要に参加していることから、仏舎利塔前で八王子7団ボーイ隊とともに参拝し、交歓しました。



山科別院京都50団流しそうめん



奈良東大寺



築地本願寺で中央10団と焼きそば交流



ハワイスカウトと八王子7団ボーイ隊・杉並2団カブ隊との交流

ハワイのスカウトと交流した杉並2団カブスカウトの感想

庄司 彩結 くま

海外のスカウトと交流が出来たことは、滅多にない機会なので、どうしても言葉の壁はありましたが、とても良い経験になりました。

ハワイのスカウトからたくさん声をかけてもらい、言葉はあまり分かりませんでしたが、ちょっとだけ会話することが出来ました。

サル園では、ハワイにはサルがないということも初めて知りました。ハワイに限らず、また他の外国のスカウトと交流する機会があれば、参加してみたいです。



土屋 奏夢 しか

ハワイのスカウトのみなさんと、高尾山に行くことが出来て良かったです。

行きは登山で、帰りはケーブルカーでおりました。

サルがとてもかわいかったです。

ハワイのスカウトに、ニンテンドースイッチを知っているか英語で聞いたら通じたのでうれしかったです。

また世界中のスカウトに会いたいと思いました。

かなうならば、ロシアのスカウトに会ってみたいです。



佐藤 壱樹 しか

山登りは大変でしたが、ハワイから来たスカウトと一緒に登りました。

疲れた時はうちわで扇いでくれたり、美味しいお菓子をくれて、うれしくて頑張れました。

特にお菓子はドライフルーツのマンゴーが美味しかったです。

僕はあまり英語をしゃべらなかつたけど、身振り手振りで通じた気がします。

また会えたら嬉しいです。



今回、当団カブ隊のスカウトは、京王線の高尾山口駅前でアロハ連盟のスカウトと待ち合わせ、高尾山で一緒にハイキングをしながら、国際交流する体験をすることができました。

外国のスカウトと真近で接する事が少ない子供達のため、子供達の率直な感想にあるように、アロハ連盟のスカウトの方々とバディを組んでハイクをしながら、最初のうちは照れたり、戸惑いながらも、子供達なりに会話は十分に通じなくても、必死に交流している姿が見受けられました。

参加したカブスカウトが、今回の経験をこれからの人生にどのように活かしてくれるかは分かりませんが、こうした経験を通じて、これからも素敵な出会いをたくさんしてくれることを願います。

今後、もし可能ならば、様々な外国のスカウトとの交流を持たせたいと思いました。



第24回世界スカウトジャンボリー特集

アメリカのウェストバージニア州サミットベクトルリザーブで、第24回世界スカウトジャンボリーが開催されました。アメリカ連盟、カナダ連盟、メキシコ連盟による共催です。

日本からは約1,200名の指導者とスカウト、I S T、本部役員が派遣されました。参加隊は全部で28隊。各隊36名のスカウトと4名のリーダーで構成されています。

あすなる地区からは、第9隊と第12隊の2個隊に分かれて参加しました。

第9隊は中野8団・11団の3名と、大都心・城東地区のスカウトで構成され、中野8団の沼上晶子さんが副長として参加しました。

第12隊は杉並3団・4団・5団・6団・9団・11団・12団・13団の27名と山手地区のスカウトで構成され、杉並6団の徳田哲夫さんが隊長として、杉並3団の内田朋子さんが副長として参加しました。9隊と12隊と別行動の日は、各隊に分けて報告します。



日本派遣団
シンボルマーク

7月20日(土) 派遣団結団式

東京から出発する派遣団のスカウト・指導者は、7月19日(金)午後代々木オリンピック記念青少年総合センターに集合し、出発直前の最後の準備訓練を行いました。

またそれに先立ち、午前中には秋篠宮さまより日章旗を受け取る「拝受式」が赤坂東邸にて行われ、東京および近隣県連盟参加隊からの代表スカウト・指導者は、午前9時にセンターに集合して式に参列し、水野派遣団長が日章旗を拝受しました。

20日(土)は派遣団結団式が開催され、壮行夕食会では隊ごとに隊紹介のパフォーマンスを行いました。



派遣団の水野団長（前列左から5番目）を囲んで 9隊（左） 12隊（右）



壮行夕食会



9隊の紹介



12隊の紹介

7月21日(日) 成田を出発、米国着

各隊は代々木オリンピック記念青少年総合センターから、バスで成田空港に向かいました。

9隊

9隊は17:45成田空港を出発し、シカゴ空港で国内線に乗り換えました。

シャーロット空港に22日00:03到着の予定でしたが、飛行機のトラブルのため遅れて、真夜中の2時に到着しました。ホテルの部屋に落ち着いたのは4時頃でした。



成田空港で搭乗待ち



シカゴ空港で乗り換え



遅れてシャーロット空港に到着

12隊

12隊は16:10成田空港を出発し、定刻の15:50をやや遅れて、ワシントンDC空港に到着しました。空港にはジャンボリー参加の各国のスカウトが大勢見られ、ジャンボリーへの期待が高まりました。その後、ワシントンDC郊外にあるアメリカンユニバーシティの寮に宿泊しました。



ワシントンDC空港に到着

7月22日(月) 会場に入場

9隊 ホテルを出て、大会シャトルバスの乗り場へ。午前10時に出発の予定でしたが、どのバスにどの隊が乗るかを配車するIST（国際サービスチーム員）が慣れておらず、乗るバスを確保するまで一苦労でした。

午前11時を過ぎてやっと出発し、ジャンボリー会場のサミットベクテルに向かいました。現地に到着した午後4時は雨でした。テントサイトの基本設営はアメリカ側がやってくれていましたが、その後の調整や夕食調達など、会場での初日は雨模様の中でした。



12隊 早朝4時半、まだ暗い中をアメリカンユニバーシティの寮を出発し、バスで約5時間かけ、ジャンボリー会場に向かいました。雨模様の会場に到着し、いよいよジャンボリーのスタートです。

設営時には雨が上がり、アメリカ隊の協力を得て、12隊のサイトが完成しました。

夕食のメニューはペンネトマトソース、サラダ、オレンジで、冷奴もあり、牛乳の半分位の真空紙パックに入った森永の製品でした。食事中に会場は豪雨!!



―――ジャンボリー会場と気候―――

ジャンボリー会場のサミットベクトルは、広さでいうと山手線の内側くらいの広さで、湖を中心に中央本部エリア、ベースキャンプエリア、アクティビティエリアがありました。

ベースキャンプはA～Fがあり、EはIST用で、派遣隊はA、B、C、D、Fの5か所を使いました。

5つのベースキャンプは、それぞれ4つのサブキャンプに分かれ、サブキャンプごとに日本隊が1～2隊ずつ入りました。9隊はC 4、12隊はC 1でした。

会場はアパラチア山脈の中で、軽井沢くらいの高地です。日中と朝晩の気温の高低差が激しく、夜は冷え込みました。

テントは夏仕様で、本体の上部（フライに覆われている部分）はメッシュのため、テント内はほぼ外気と同様で、夜は寒く、防寒が必要でした。

寒暖差が激しいので、夜露、朝露もすごく、朝起きると、テントは雨が降ったかと思うほど濡れていました。

日中は晴れると30度以上になり、日差しも強かったですが、湿気がないので日陰は涼しく、洗濯ものはよく乾きました。



本部とベースキャンプ
湖に浮かぶ小さな島は“ブラウンシー島”という名前です。



写真中央、楕円部の広場がアリーナ

会場は広すぎて、プロが撮影しても全体が1枚の写真には収まりません。

ベースキャンプごとにテントのフライの色が違い、9隊、12隊のベースCのテントは青色でした。

(9隊・沼上)

7月23日(火) 開会式

9隊 前日はとても疲れたので、日中はアクティビティには行かないでいましたが、時々やって来る海外のスカウトたちと交流が始まりました。だんだん勢いづき、交換のために出掛けていきました。



12隊

6:00に起床、7:00に朝食を終え、班ごとにアクティビティに向かいました。各班ともまずは会場中心のサミットセンターを視察して、お土産を買ったりしていたようです。

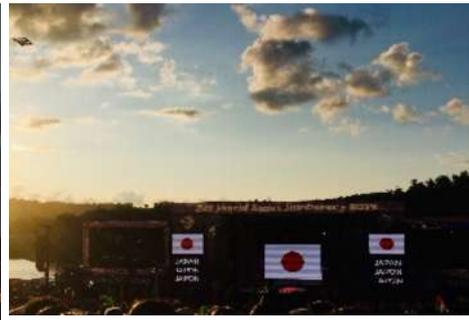


9隊・12隊 開会式

夕方からは開会式が開催されました。

オープニングの前から、会場に集まった各国のスカウトとの国際交流が始まりました。

ステージでは参加各国の紹介のほか、音楽ショーや、ライトをつけた多くのドローンにより、夜空にスカウトマークや三指の敬礼などの形を描くパフォーマンスがあり、スカウトたちは興奮気味でした。



――WSJのIT元年？ アプリ利用による運営――

今回のジャンボリーの特徴として、アプリの活用があります。事前にスマホの活用推奨とアプリの紹介があり、指導者もスカウトも日本にいるときに、スマホにアプリをダウンロードしてから現地入りしました。

大会アプリでは、大会情報やスケジュール、アクティビティの情報、地図などが確認できたのと、「現在30分待ち」など、まるでテーマパークのようにアクティビティの混雑状況がリアルタイムに確認できました。

また、事前にスマホに“Grub Master”というアプリを登録し、これが食糧調達のアプリとなりました。

1日3333ポイントが各隊に支給され、スカウトがメニューを決めて、日々の食材は各サブキャンプのフードマーケットでポイントで調達します。

調達したい食材のQRコードをアプリで読み込むことで商品情報をリストアップし、ポイントで支払いました。まるでネットショッピングのようです。

ただし、マーケットにあるのは見慣れない典型的な“アメリカン”な食材と缶詰、お菓子の数々のため、スカウトたちはメニューに悩みながら調達しました。

ポイントを使ったマーケットでの食材購入という方法は、8年前にスウェーデンで開催された22WSJと基本的に同じでしたが、QRコードとアプリの利用という点が進歩しています。

このように大会はスマホの利用を前提としていたため、会場内にはWifiが張り巡らされていました。Wifiはいつでもどこでも利用できる、ということでしたが、実際には場所によって電波の強弱がありました。

Wifiアンテナはトイレとシャワー棟に設置されていたので、トイレの隣だった9隊サイトでは快適なWifi環境でしたが、少し離れていた12隊ではWifiの利用に苦慮しました。

各サブキャンプ本部に充電ポイントが設置されていましたが、サイトからは離れていることと、充電中放置するには不安があるため、大会が準備した充電ポイントを活用するには少し難がありました。

各自、ソーラー式のバッテリーなどを準備することで対応していた部分が多かったです。

(9隊・沼上)



朝早くからマーケット前には行列

7月24日(水)

9隊

朝は霧に包まれて起床。そしてこの日から本格的に行動を始めました。

隊に20枚来ていたラフティングのチケットの日付はこの日で、希望者の中から20人が行き、残りの人はそれぞれ楽しみ、スカウトショップに行った人もいました。バッジやワッペンなどの交換もお店を広げて盛んでした。



朝礼



12隊

スカウトは今日も元気にアーチェリー、マウンテンバイク、スケートボード等のアクティビティに出かけました。ただ、下調べが不足して道を間違えたり、時間がとてもかかったりと、苦戦もあったようです。



長い橋を渡ってアクティビティ会場へ



太いタイヤのマウンテンバイクで山道へ

7月25日(木)

9隊

それぞれが自分のやってみたいアクティビティを楽しみました。

グッズの交換は段々上手になってきました。サイトが端なので、スペースに余裕があり、そこから海外のスカウトが訪問してきました。それを見た別の国のスカウトが合流したりして、幸いにもサイトが自然とミニ交換場所になり、交換品も大物になってきました。



12隊

いかにもアメリカなモーニングとランチが続いて、「日本食が恋しい！」と叫ぶスカウトも出始めました。

アクティビティは、どっこも混んでいるようで、時間がかかります。20時くらいまでは明るいため、時間の感覚が少々おかしくなりました。

朝晩は結構冷えるので、薄着のスカウトはショップで購入した紫のトレーナーを着ていました。水のシャワーにも慣れてきました。



7月26日(金) カルチャーディ・ユニティショウ

9隊 カルチャーディは、文化祭方式で各国のサイトで自国の文化を紹介し合います。9隊のサイトの抹茶サービスは大盛況で、目のまわるような忙しさでした。準備した700個くらいのお菓子が全部なくなりました。



12隊 カルチャーディのため、朝からサイト脇の道にテーブルを出し、サイト全員で朝食を食べることになり、カリフォルニア米で作ったチキンライスをおにぎりにした“ケチャップライスボール”をつくって、外国スカウトにも振る舞いました。

漢字で外国スカウトの名前を書いてあげるお習字のパフォーマンスは、大盛り上がりでした。

日本のハッピーは外国のスカウトはもちろん、リーダーにも大人気で、どんな高級品とでも交換できました。しかし、交換するには数が圧倒的に少なく、ハッピーを着ての記念撮影をサービスしました。

それだけでも外国のスカウトは満足してくれました。





9隊・12隊 ユニティショー

カルチャーディの夜はユニティショー。日本で言うところの大集会です。
ゲストはブロードウェイに出演しているプロの方々。ディズニーメドレーで盛り上がりました。





———便利なNOVUS———

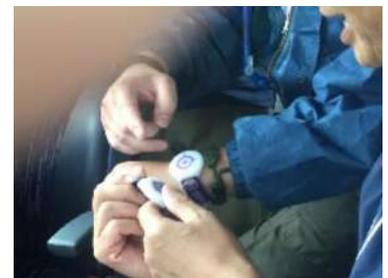
今回のジャンボリーはアプリの活用と同時に、“NOVUS”という腕時計のようなグッズが全員に配布され、活用されました。NOVUSにはあらかじめ個人情報が登録されていて、アクティビティへの入場管理もこれで行われました。

また、2台のNOVUSを近づけ合うことで、お互いの情報を交換することができ、大会アプリと連動させておくことで、情報交換をした友人の名前やメールアドレスなどを、アプリで確認することができました。

多くの新しい友達との交換による「バーチャルアワード制度」もありました。

このNOVUSは本部による遠隔操作もできるようで、普段スイッチを押すと青く光るNOVUSが、アリーナでのショーの最中に勝手にいろいろな色で光りました。気が付いたら光っているので、みんなびっくりしました。

(9隊・沼上)



7月27日(土)

9隊

それぞれが、やりたいアクティビティに出掛けました。
クライミングはこんな立派な壁を昇りました。



12隊

人気の高いアクティビティは、「午前10時から並んで午後2時に出来る…」というのが多い状態でした。
フライフィッシング(疑似餌の釣り)は、なかなかスカウトが経験する機会が無いため、おススメしましたが、イマイチ反応が良くありませんでした。
各国のサイトを訪問するのも楽しみでした。
少々疲れてきたスカウトも出始め、各自の判断で動くようにしたところ、サイトでゴロゴロを選択するスカウトもいました。
アクティビティに出かける時など、ランチは写真のような手軽なアメリカンスナックで済ませました。



コスタリカ



スリランカ



——ジャンボリーの共通言語——

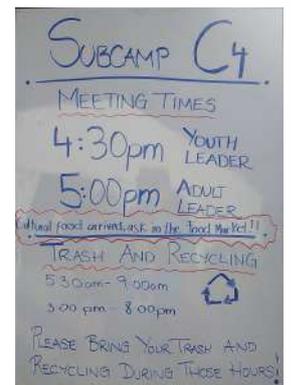
大会の公用語は、英語、フランス語、スペイン語の3か国語でした。アメリカ、カナダ、スペインの3か国の共催だからでしょう。大会側から供給される書類はすべて3か国語があり、アリーナで行われる式典でも常に3か国でのアナウンスがありました。

ただし生活の中での公用語は英語で、会場内のちょっとした案内看板には英語の表記しかありません。運営側と参加者のコミュニケーションも英語でした。各サブキャンプで定例の隊長会議がありましたが、使用されていた言語は英語のみでした。

運営は基本的にはきちんとなされているものの、各参加者にすべてのものがきちんと供給されているかという点、どうもあれこれ足りないものがあります。その時には「ないから必要だ」、ということをしつかり主張しないと出てきません。

奥ゆかしい日本人は、どうしても控えめにしか言わなかったり、待たりますますが、しっかり自己主張をしないと忘れられてしまいます。英語が流暢に話せるに越したことはありませんが、拙い言い方でもしっかりと意思を伝えられることが大切、ということを実感させられました。

(9隊・沼上)



7月28日(日) スカウトオウン

12隊

全体集会の待機音楽は、何故かムード歌謡でした。

スカウトには、白いネッカチーフとペンが配られ、スカウト同士で、白いネッカチーフにサイン交換をしました。最後にバーデンパウエルのお孫さんのことばがあり、“TAKE ME HOME, COUNTRY ROAD”の“Almost heaven West Virginia～”の大合唱でお開きになり、各宗派で場所を変えて集会をしました。

夕方にはサイト近くで、C1全体のキャンプファイアを行うことになり、遅れて参加しましたが、かなりの日本のスカウトが参加して、日本隊の存在を強烈にアピールしました。



9隊

大人気で、すぐに定員になり、体験しにくい「ビッグジップ」「ザ・ロープ」などのプログラムに挑戦するため、スカウト達は早朝の4時30分頃から出発しました。

朝早くから出掛けたおかげで、人気アクティビティに参加することができました。

夕食タイムには、近所のデンマーク隊と交流しました。



ビッグジップ



7月29日(月) Mt. Jackに登山

9隊

ベースチャーリー（Cサイト）全体で、Mt. Jack登山の日。暑い中でしたが、頂上でのアクティビティも楽しみました。

夜には、大会中に誕生日を迎えた、中野8団のスカウトを含めた2人のスカウトの誕生パーティーを行い、水野派遣団長からのバースデーカードもプレゼントされました。



12隊

前日のGB会議で、「Mt. Jack登山には早く行こう!」ということになり、5:30に起床し、6:45に出発しました。山頂は台形でとても広く、「スパルタン」のほか、ウッドクラフト、1910年にニューヨーク州郊外のシルバーベイで行われた“American first Boy Scouts Camp”などの展示があり、いろいろなアクティビティも楽しむことができました。

「スパルタンレース」は1マイル(約1.6km)と2マイルがあり、いずれも完走するとメダルが授与されますが、なかなかハードで、お昼寝もグッスリとなりました。

下山後はAサイトにあるシカゴの隊との交流会となり、カードゲームなどで交流を深めました。

すっかり遅くなってしまったので、夕食はインターナショナルフーズエリアのドイツ館にて、ローストポークをいただきました。





日陰で昼寝

夕食のローストポーク

7月30日(火)

9隊 天気予報通りの雨。それも雷を伴いザーッと降ったかと思うと、晴れてカラッとするという感じで、何度か繰り返しました。そんな中でもスカウトたちはアクティビティを楽しみました。

スカウトたちは、写真のような携行食を持って出かけていました。

フードコーナーもあるので、そこで買って食べているスカウトもいました。



12隊 スカウトのネッカチーフは赤色で、リーダーのネッカチーフは青色となっていますが、リーダー用の青色のネッカチーフがやっと届きました。

人気のアクティビティの「ビッグジップ」は、最初の話では体重の制限が22kgでしたが、なんと60kg以上になりました。このためほとんどのスカウトは参加できなくなりましたが、そんなことをものともせず、スカウトたちは元気に出かけていきました。

早くに行けば並ぶ時間が少なくて済むことを学習したので、起床時間も各々で決め、朝食の食事自分たちで作って、全員朝6時には出発しました。



7月31日(水)

9隊 目一杯にアクティビティを楽しみました。各国スカウトとの交流や交換も盛んに行なわれました。日本隊のハッピーやネッカチーフは大変人気でした。

夕方からは雷と雨がありましたが、夕食時には上がり、ベルギーの隊と交流会をしました。





12隊 今日は雨の予報でしたが、嬉しいことに晴れて暑く、川を下るラフティング日和で、くじ引きで決まった20人の参加スカウトは、ヘルメット、ライフジャケットを着用して、ラフティングに挑戦しました。

それ以外のスカウトも、それぞれアクティビティに出かけました。

夜はポルトガルとポーランドのスカウトと交流会でしたが、準備をしているうち、あちこちから様々な国のスカウトがやってきました。

もう誰でもどうぞ！ウエルカム！ 21：00には終了予定でしたが、なかなか終わりませんでした。



8月1日(木) 閉会式

9隊

活動最終日。隊で会場内を歩き回り、あちこちで写真を撮りました。



中野の3人のメンバー



3人と沼上副長



制服を交換



あちこちで交換

9隊・12隊 閉会式

午後8時から閉会セレモニーは雨と雷のために、1時間遅れて始まりました。

閉会式のフェナーレは、ド派手な花火とレーザー光線のショーが圧巻でした。

4年後の2023年、韓国で開催予定の第25回世界ジャンボリーで、お互いに再会できるよう、各国のスカウトに“See you, next jamboree!”と声をかけあいながら、閉会式の会場を後にしました。





8月2日(金) 撤収し、ワシントンへ

9隊 4:00に起きて、まだ暗い中、撤収を開始しました。
テントの張ってあった草地在、いくつも方形の跡になっていました。

8:00にはチャーターバスに乗り、ワシントンD.C.へ移動しました。バスの中では、それまでの疲れと早朝の撤収作業で皆、爆睡していました。ワシントンD.C.では、アメリカンユニバーシティに宿泊しました。





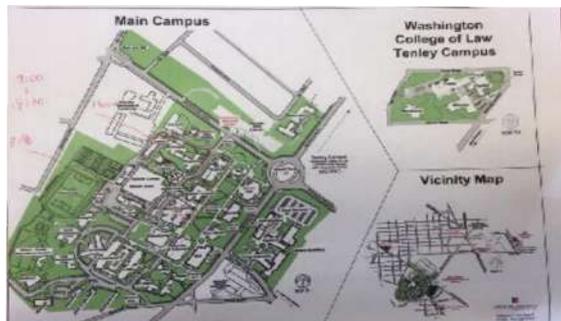
12隊 12日間のジャンボリーもあっという間に終わりました。

使用したテントは隊長会議で仲良くなったアフリカ南西部にあるナミビア共和国にすべて寄付することに全員が同意し、朝6:15にナミビアのスカウトがテントを受け取りにきました。ささやかな国際貢献です。

すべての撤収が終わって8:45発のバスを待ち、ワシントンDCのアメリカンユニバーシティの宿舎に入りました。

ここは嬉しいことに暖かいシャワーも洗濯機もあり、ランチは写真のピザで、夕食はアメリカンユニバーシティのカフェテリアでした。

宿舎ではジャンボリー期間中に貢献したスカウト、たくさんの経験をしたスカウトの表彰を行いました。



8月3日(土) ワシントンD.C市内見学

9隊

ワシントンD.C. 市内見学の日。ところが9隊のバスがエンジントラブルで来ません。少し歩き、中心部まで地下鉄に乗ることにしました。予定にない経験をすることができてラッキーでした。ホワイトハウス周辺を歩いて観光していると、さまざまな別の国のスカウトに会いました。バスと合流し、硫黄島メモリアルを見学してランチタイム。それからリンカーン記念館、国会議事堂、スミソニアン博物館群のうちの歴史博物館、自然史博物館、航空宇宙博物館を駆け足で見学。お土産タイムも作ってもらいました。



地下鉄に乗車



スミソニアン航空宇宙博物館を見学



連邦議会議事堂



ホワイトハウス

12隊

ホリデーインの17階でランチの後に、スミソニアン博物館を見学。スミソニアン博物館は、部門に別れていて、周辺と、遠くにも別館がありますが、今回時間が無かったので、国立宇宙博物館のみの見学でした。

ホワイトハウスとリンカーンメモリアルも見学しました。



ホリデーインでランチ



スミソニアン博物館を見学



ホワイトハウス



リンカーン記念館



8月4日(日) ワシントンD.Cを出発

すべての活動を終えて、アメリカを出国し、日本に向けて出発。



12隊

すべての活動を終え、8:45にアメリカンユニバーシティを出発しました。

ワシントンDCの空港は、ジャンボリーのスカウトたちで大混雑でした。ユナイテッド航空の搭乗手続き窓口はたくさんあるのに、なんと日本隊はそのうちの3つしか使ってはいけないとのこと。どんなに頼んでも、他は使わせてくれなかったため、3時間前には空港に着いていたのに、出発時間ぎりぎりになりました。

8月5日(月) 成田着

機内では全員が爆睡。9隊、12隊とも成田空港に無事到着。全員が怪我もなく、元気に帰国し、成田空港で解散しました。

9隊では、スカウト達から隊長宛ての寄せ書きのプレゼントがありました。



9隊

…区長に報告…

8月26日(金)、今回の世界ジャンボリー派遣団のスカウト、指導者は、杉並区役所にて田中区長にお会いし、ジャンボリーでの国際交流の経験、活動で得た体験などの報告をしました。

田中区長からは「君たちの年齢で海外を経験することは大変貴重、これを生かして頑張ってください」とのお話がありました。

